

会 議 録

第 1 3 回定例会

開会 平成 2 9 年 1 0 月 2 3 日

教育委員会会議録

1 開 会 平成29年10月23日 午前10時

2 閉 会 平成29年10月23日 午前11時30分

3 教育委員会出席者

教育長	美馬 持仁
委員	松重 和美
委員	三牧 千鶴子
委員	辻 貴博
委員	藤本 宗子
委員	小林 信行

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	勢井 研
教 育 次 長	森本 俊明
コンプライアンス推進室長	大島 耕司
教育創生課長	長町 哲治
教職員課長	儀宝 修
学校教育課長	後藤 浩代
教育文化課長	臼杵 一浩
教育政策課長	小西 哲也
教育政策課副課長	倉橋 伸寿

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第35号、議案第36号、議案第37号及び報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

[議 事]

《議案第34号 平成30年度公立高等学校生徒募集定員について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

松重委員：中学3年生徒数の減少は4%ぐらいということか。

教育創生課長：そうである。過去10年では、最も大きい減少幅である。生徒が増加した年もあったが、10年間で平均すると毎年100名程度の減少であった。

松重委員：今後、数年以内に同様の減少があるのか。

教育創生課長：そうである。今後10年の生徒数の変動を平均すると年100名よりは少ないと見込まれるが、生徒数は確実に減少していく。

松重委員：特に周辺地域、今回であれば阿南市を含め県南部で生徒数が減少している。将来的には、生徒数の減少を見据えて学校の統廃合を検討するのか。

教育長：現在のところは、統廃合を検討するまでには至っていないが、このまま進行することになれば、今後、課題となることは予想される。そうならないため

にも、現在、学校の魅力化づくりに取り組もうとしており、今年は、海部高校の魅力化を図るため、タスクフォースを立ち上げたところである。地方創生の観点で捉えた場合、各地域の学校を大切にするという考え方が重要であり、徳島県内における地方の学校を活性化する必要があると考えている。

藤本委員：本県発の取組であるデュアルスクールが、全国知事会主催による、都道府県の優れた政策を表彰するコンテストにおいて、最も優秀な政策に贈られる先進政策大賞を受賞したと聞いた。こうした政策と関連するかたちで、県外から本県の高校を受検しようとする生徒についても、募集定員に含まれていると考えてよいか。

教育創生課長：募集定員について、県外出身の生徒を対象とする県外枠を設けるということはしていない。募集定員の内数である。

教育長：他県においても、高校の県外募集を盛んに行っており、その点でも、本県高校の魅力づくりが大切である。現在、本県では、スポーツ分野を中心に生徒の県外募集を実施している。

教育創生課長：今春の入学者選抜では、生徒のみが県内に転住するかたちで19名が高校に入学している。

三牧委員：現在、高校受検しようとしている生徒は、団塊の世代の孫に相当すると思われるので、生徒数が多いということではないのか。

教育長：団塊の世代の孫に相当すると思われるが、生徒数としては多くない。

松重委員：全国的に少子化傾向であるが、沖縄県では出生率は高い。人口増加は、県の活力につながる。本県においても、取組次第では、人口は減少しても、若年層は増加するであろう。そのためには思い切った施策が必要である。これは、県教育委員会だけの課題でないことは承知しているが、例えば、海外からの留学生を検討するということがあってもいいのではないのか。

三牧委員：地域は、その地の学校を中心に活性化されるという側面があるので、各学校の魅力化に積極的に取り組んでいただきたい。

小林委員：海部高校に対し、サーフィンを目的に県外から入学を志願する生徒は何人いたのか。

教育創生課長：一昨年、さらにその前年に1人ずつ、県外からの入学生がいた。海部高校の生徒、あるいはその卒業生がオリンピック等に出場して活躍すると、今後、増加することも考えられる。

辻委員：先日、サーフィンの世界ジュニア選手権で優勝した生徒がいたと思うが。

教育創生課長：当該生徒は通信制高校に在学している。サーフィンという競技は、世界を転戦することが多く、毎日のように通学して授業を受けることは困難であると聞いている。

教育長：海部高校魅力化のためのタスクフォースでは、サーフィンも話題として取り上げられている。生徒だけでなく、保護者がサーフィンを愛好し、その縁で移住してくることもあるようだ。海部高校周辺はサーフィンをできる環境にあるという利点はある。

松重委員：先日、視察した那賀高校森林クリエイト科は、材木を扱うという点では、東南アジアの視点からみても魅力的ではないか。

教育長：海外から生徒を招くことについては、財政的な支援の検討が必要である。県としては、6次産業化をはじめ専門高校の育成に注力しているところである。当該校に対しては財政的な投資も行い、地域産業を担う人づくりに力点を置き、今回の募集定員にもその意図を反映させている。また、専門高校からの大学進学という新しいキャリアパスの開拓にも取り組んでいる。

松重委員：首都圏の大学では、自校のブランド価値を高める一つの方策として箱根駅伝を活用しようと、海外から留学生を招いている。その費用は莫大で、学生及びその家族の4年間について、1億円かかるとも言われている。これは一例であるが、これからは、国内に限らず、海外も対象として、徳島へ人の流れを築くことはできないだろうか。

小林委員：ラグビー競技では、高知県の私立学校で、中国やトンガから生徒を招いた事例があることは承知している。公立高校では難しいとは思いますが、県内の私立学校が実施すると、高校スポーツは活性化されると思う。県内公立高校でも、例えばスポーツ科学科のある鳴門渦潮高校と、四国大学とが連携して、競技スポーツを育成するという方策はあると思う。

教育長：私立学校では、今のような事例は多くあると思うが、公立学校では財政的な問題もあり数少ないと思う。研究する価値はあると思われる。

松重委員：スポーツに限らず海外から留学生を招くということは、日本の高校生にとってのグローバル意識の高揚にもつながる。異質の文化、考えを持った留学生が来るということは、人口増加だけの効果ではない。グローバル化をはじめ、人が減るからどうするかではなく、前向きな検討をお願いしたい。

教育長：多様性という観点で、高校教育にも必要ということかもしれない。

教育長 議案第34号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第34号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 人事委員会勧告等の概要について》

教育長 報告を求める。

教職員課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし

《報告事項3 第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会のマスコットキャラクター・
イメージソング等について》

教育長 報告を求める。

教育文化課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

松重委員：藍の花弁は6片か。

教育文化課長：6片であり、城西高校が使っているのが白の花の藍である。

松重委員：種類は2つありますよね。私は最近見に行ったので、白ではなくピンクのイメージがあった。藍の花も先の色が白だけでなく、ちょっとピンク色もいい。

三牧委員：名前はないのか。

教育文化課長：名前は今日から2ヶ月間にわたって、県民の皆さんや、2府8県の高
校生に公募する。

教育長：中性の名前にする。

松重委員：イメージソングは誰が歌っているのか。

教育文化課長：作詞・作曲した本人である。これらは27日のプレ大会で表彰・披露する予定である。選考にあたっては、実行委員の子どもたちの意見を反映している。

松重委員：マスコットキャラクターの着ぐるみは作らないのか。

教育文化課長：作成する予定である。

[非公開]

《議案第37号 徳島県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者の指定について》

《議案第36号 平成30年度使用高等学校用教科用図書採択について（追加）》

《議案第35号 公文書部分公開決定に対する審査請求事案の徳島県情報公開審査会
への諮問について》

《報告事項1 公益通報の受付・処理状況について（平成29年7月～9月分）》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時30分